



経済金融活性化特区・
情報特区の企業と雇用
平成30年5月末現在

■ 企業数 46社
● 雇用者数 1,096人

特区で働こう!

『株式会社 数理エンジニアリングサービス』

※旧:INDEX(株)



笑顔でインタビューに応じる島さん

今月は、名護市マルチメディア館に入居している『株式会社数理エンジニアリングサービス』で働いている島康貴さんにお話を伺いました。

何をしている会社?

弊社は、東京にあるグループ会社の「(株)数理ホールディングス」と連携して、業務システムの「保守」「運用」および業務代行などアウトソーシング事業を行っている会社です。

一例としては、クライアント会社のIT部門の一部業務を代行し、業務管理に使用している携帯端末やタブレットなどの手配や、故障時の修理受け付けやお問い合わせ対応など、幅広いサポートを行っています。

就職のきっかけは?

現在の職に就く以前は、母校である名桜大学でIT関連の非常勤講師をしていました。その際に弊社の社長と、名桜大学を地域の「活力」と「人材」の供給源にできないか意見交換する機会がありました。

それをきっかけに名桜大学の国際色を生かし、海外との架け橋となる人材育成や、国内外から知識と人が集まり交流するサービスをつくりたいと思い、心機一転、転職しました。

会社でのお仕事は?

入社後、ブリッジ人材としての経験を積むため、産官学連携プロジェクトを企画しました。平成27年11月から約2年半、沖縄県の万国津梁人材育成事業を活用して、国立マレーシア国民大学でビッグデータ分析手法の研究開発と人脈づくりに取り組みました。

現在は、行政や名桜大学をはじめとする関係団体と連携して、企業の知識や技術を大学に提供し、研究や学生の育成に活用できる産学管連携の仕組みづくりにチャレンジしています。

会社のPRポイント!

社員一人ひとりの働き方を支援してくれる社風があります。会社のポリシーの「足らずを補う」の考えのもと、人とのつながりを大切にしています。

また、社長が面談を通じて仕事環境やキャリアアップと一緒に考えてくれます。

例えば、子育て中の社員への相談・調整はもちろんですが、私のように海外での長期研修や産学連携に取り組んでいる社員を支援してくれる会社でもありません。そのおかげで「実学的研究の連携基盤をつくる」という目標に向かって進むことができます。



にぎやかな社内オフィスの様子

今後の目標は?

産官学連携の取り組みは、まだスタートしたばかりですが、多くの方々の協力を大切にして軌道に乗せていきたいです。

そして地元で優秀な人材を育て、その人材と一緒に新たな商品・サービスを生み出せる会社となり、生まれ育った名護に活力を提供し続ける存在となれるようがんばってまいります。

ご意見・ご感想をお寄せください

商工観光局 経済金融活性化特区推進室(企業誘致班)
TEL.0980-53-7530 FAX.0980-53-7522

特定非営利活動法人NDA
TEL.0980-55-3333 FAX.0980-55-3332
メールアドレス.info-nda@nda.city.nago.okinawa.jp

お問い合わせ先

WEBでも 情報発信しています!

- NDAホームページ
<http://nda.city.nago.okinawa.jp/>
- 商工観光局 経済金融活性化特区推進室(企業誘致班)
<http://www.city.nago.okinawa.jp/4/3259.html>

